

中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	経済学部 外国人留学生 入学試験
科目	小論文

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

あたりまえのように見える私たちの日常が、実は自分の
身体条件や 生みだされた技術の中で限定された世界
である。環世界というキーワードから既存の価値や
枠組みに新たな気づきを得られるか。を全体の
問いとした。

3つの問いは、日常のあたりまえを疑う問題提起
ができるかどうか、それを例示しながら説明
できるかどうか、そしてきちんと文章を把握し、自分の
言語化ができるかをポイントとした。

中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	2026 年度 商学部 外国人留学生入学試験【A 方式】
科目	日本語（小論文）

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

時事的な問題に対する意見と理由を論理的な文章で表現する力を有しているか評価するのが出題の意図である。特に、十分な日本語力、論理的思考力、文章構成力をはかっている。

中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	総合政策学部・外国人留学生入試
科目	小論文

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

本問題は、受験者に対して、十分な日本語能力を持つかどうかだけでなく、題意を理解したうえで論理的に解答する能力を有するかを問うものである。とりわけ以下の点を評価する意図がある。

1. 題意に対する理解と構成力

問題文にある指示に従ったうえで、限られた字数の中で文章を構築し、解答できているかどうか。的確な読解だけでなく、十分な文章能力が備わっているかを評価する。

2. 論理的思考と展開

自身の考えを述べるだけでなく、それがどのような根拠に基づくものなのかを示し、論理的な飛躍なく、読者に対して説得的に展開できるかどうかを評価する。

中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

試験方式	外国人留学生入学試験（A 方式）
学部（学科/専攻）	国際経営学部
科目	英語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

I. 文法・語彙問題

短文の空欄補充問題 10 問。国際経営学部の CEFR B1 レベルの英語授業で用いるものを中心に英語の基礎力を確認した。品詞（名詞、動詞、形容詞、前置詞）などを正しく用いることができるか、また熟語や慣用表現など。英文のトピックはビジネス、経済、政治、技術など偏りが無い出題としている。

II. 空所補充と読解問題

日本とコメの歴史について、アジアとの関連、歴史的な価値、文化的アイデンティティの象徴であると同時に、国家の食料安全保障に関する議論の重要なテーマであること述べた文章。

Q1. 本文中の空欄に適切な語彙および前置詞を埋め、英語の自然な運用が行えるかをテストした。農業に関連した選択肢も含み、大学の教養科目で用いる可能性の高い英語語彙が中心となった。

Q2. 読解力を試す問題。素材文の内容と合致していれば True、合致していなければ False を選ぶ。コメが日本で栽培されるようになった経緯、単なる食物ではなく、かつては「年貢」と呼ばれる税の指標にされ、経済力と権威の尺度にもなったことを総合的に理解したい。

III. エッセイライティング問題

「ソーシャルメディア・アプリは、過度な使用や青少年のメンタルヘルスに関する健康上の警告を表示すべきである。」という主題に対して、「賛成」もしくは「反対」のどちらかの立場に立って意見を述べる。健康上の警告の表示をすべきかどうかを明確に示してから、その理由や体験などを指定語数内で書くことが求められる。解答語数 90 語から 100 語が指定されており、解答者はこの形式条件を満たす必要がある。また、エッセイの内容の質に加え、文法、語彙、パラグラフ構成や書式なども評価に含めて評価を行った。

IV. 日本語訳および日本語要約問題

400 語程度の英文を読み、その内容を理解した上で、指定された箇所の日本語訳および全体の日本語要旨を 200 字程度で書く設問である。外国人留学生 A 方式は、英語に限らず日本語も堪能な学生の採用を目的としているため、書き言葉での日本語能力を見る意図がある。今回は、オーストラリアで流通している貨幣「Donation Dollar」について。

(1) 下線部の文の模範解答は「現金がまだ取引される場所で、小さな親切が再び当たり前に感じられるようにするためである。」となる。文脈に沿った理解、統語関係、語彙（日本語として自然な選択）、および日本語で用いる漢字・ひらがな・カタカナおよび句読点の使用が正しいかどうかを評価の対象としている。

(2) 素材全体を日本語 200 字で要約する問題。キーワードの適切な抽出、著者の意図などが汲み取れているかどうかを評価した。横書き、改行・字下げ不要、句読点は 1 文字と数えるといった書式指定が守られているか、180 字以上で解答欄が埋まっているかも重要である。母語の影響を受けた訳をしたり、アルファベットをそのまま書き写した場合は減点対象となる。日本語母語話者が本文を読まずして受験生の要約文を目にした場合でも、本文の主旨を把握できることが理想である。

以上。